



アルコールや薬物、ギャンブル等、依存症の問題で現在会社を休職している方、入院している方。

このまま復職しても同じ結果になるのではと不安ではないでしょうか。

依存症は治癒しない進行性の病気で、適切なケアを続けないと再発（再飲酒）を繰り返し、徐々に進行して人生が壊れていく病気です。

回復のために、一定期間専門的なプログラムや個別支援を受けて、自助グループに参加する習慣を身につけてから復職することは、一見遠回りにみえても、再発を繰り返して休職・入院を何度も繰り返すよりも結果としてはずっと近道であることが多いです。

RDデイケアセンターの根幹プログラム「リカバリー・ダイナミクス®」は集中的に12ステップに取り組むことで短期間でのリワークを果たすことを目的にアメリカで作られました。RDデイケアセンターは他の依存症回復支援施設に比べて休職中に利用される方が多く、リワーク（復職）支援の実績も豊富です。

ぜひ気軽に一度見学にきてみませんか。

RDデイケアセンター *presents* リワーク 復職プログラム

Rework Program

復職支援 プログラム

リカバリー・
ダイナミクス®

12ステップによる
変化・成長

最短3ヶ月

短期利用可能
個別応相談

個別支援

ピアスタッフ・専門職
によるカウンセリング

グループ
プログラム

同じ問題を持つ
仲間同士の支え合い

豊富な支援実績

毎年平均3~5名
計60名以上が復職

自助グループ参加

会場選び
習慣づけ
回復の土台作り

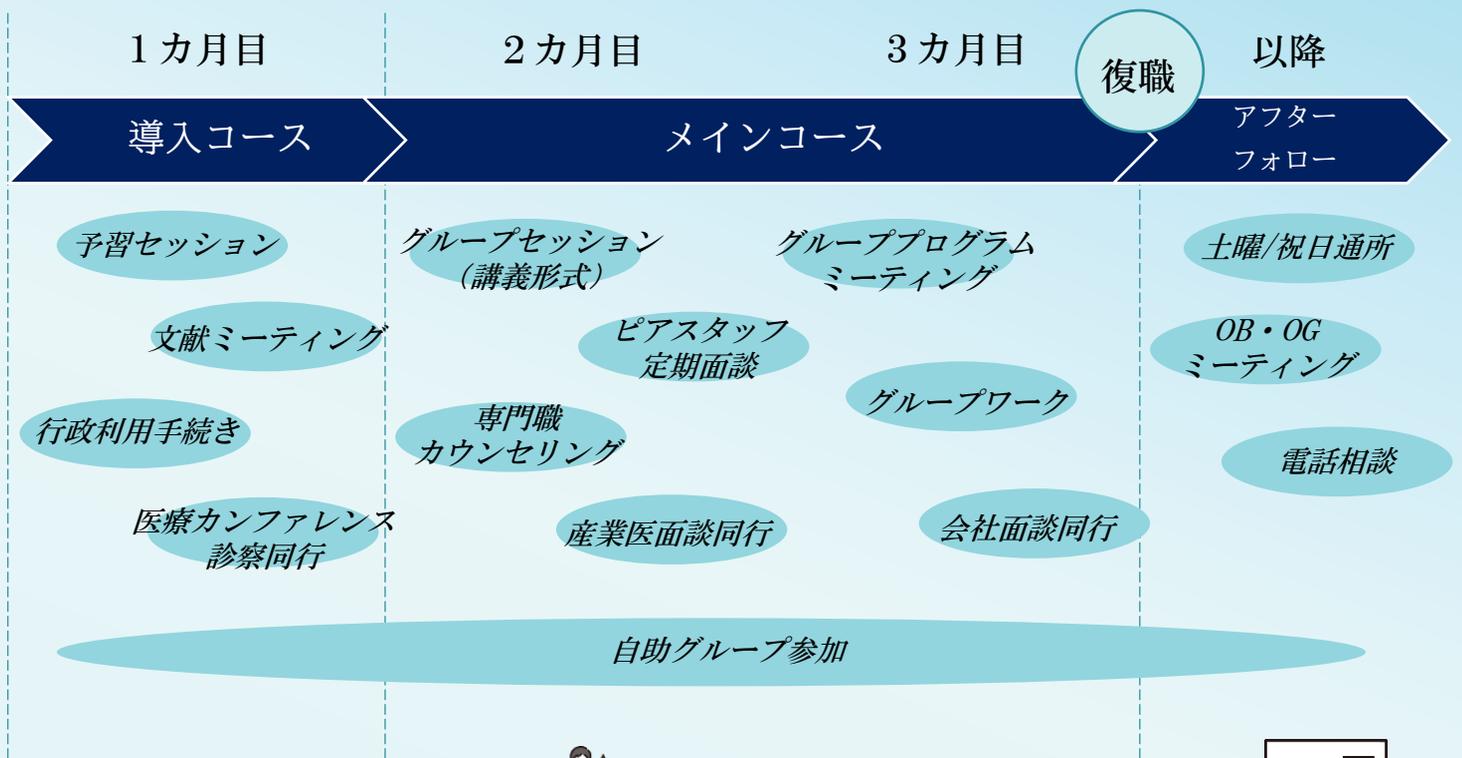
アフターフォロー

土曜/祝日の継続参加
修了生向けプログラム
電話相談

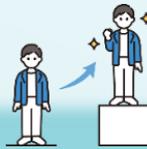
会社への働きかけ

会社との面談同行
通所証明書発行
法律相談

利用イメージ（3ヶ月の場合）



利用期間について



休職期間や経済的事情など、利用される方の状況や要望に応じてプログラムに取り組む期間や内容の計画を一緒に立てています。

短期間の利用で再発（再飲酒）してしまうより、結局は1年半から2年程集中して回復に取り組んだ方が、安全で近道なことが多いですが、それをお伝えしつつも個別の事情にあわせ対応しています。

費用について



お住まいの自治体に障害福祉サービスの利用申請をしていただくことで、減免を受けることができます。

前年度の収入に応じて自己負担金額の上限月額は「0円」「9,300円」「37,200円」の3区分のどれかに指定され、その範囲内で利用日数に応じたご負担となります。

経済的理由で利用を諦めることがなるべくないよう相談のっておりますので詳しくは直接お問い合わせください。

メンバーの体験談



今回、復職するにあたりRDの担当スタッフにも一緒に、上司との面談の席に同席してもらった。そして自分ではうまく説明できない、病気の特徴や注意すべき事など、上司に説明してもらった。スタッフは、病気の症状だけでなく、健康な人には思いもよらないこの病気特有の考え方や感じ方の癖、さらに私がこの施設でどんなことを学び、どう変化してきたかまで、上司に理解できるよう丁寧に説明してくれた。（上司も わざわざ RDに足を運んでくれた。）こういう面談を数回してもらった。

こうして職場での復職に向けたプログラムが始まった。初めは10時までの出勤→RDに帰る→夜のミーティング→翌朝職場でまた10時まで、というプログラムを組んでいただき「RDに帰るという安心感」を軸に職場へ向かった。何かあってもRDへ帰れるから大丈夫！とにかくRDに帰るまでの我慢！という気持ちで仕事をしながら、10時までが半日に、半日が15時までに、そうやってゆつりと時間を伸ばし1ヵ月かけてフルタイムへ戻していただいた。

今、おかげさまで復職して数年経つ。その間、人事異動も経験し、今は復職した時とは別の部署で働かせていただいている。毎日同じ時間に出勤し、終業のチャイムとともに夜のプログラムへ向かう。同じ時間のタイム記録を見ると本当に奇跡を感じる！！

（ホームページより一部抜粋）

スタッフ紹介



スタッフ6名は全員、回復を続けている依存症当事者です。精神保健福祉士、社会福祉士、公認心理師、介護福祉士等の国家資格を有しており、同性のスタッフが担当につき、寄り添ってサポートします。

ホームページに各スタッフの自己紹介と体験談を掲載しています。



「大丈夫、やり直せる。」

RDデイケアセンター

TEL:03-5944-1602

受付:月～土 9:00～17:30

〒173-0004東京都板橋区板橋区4-6-1 板橋スカイプラザ2J
FAX:03-5944-1603 Email:i-rddc@japanmac.or.jp